

NATIONAL DEFENSE ACADEMY





## 防衛大学校学生歌

田崎英之作詞 須摩洋朔作曲

## 学生綱領

国家防衛の志を同じくしてこの小原台に学ぶ我々は、我々の手によって学生綱領を定めた。その目指すところは常に自主自律の精神をもって自己の充実を図り、厳しい徳性のかん養に努め、もって与えられた使命の完遂に必要な伸展性のある資質を育成するにある。

我々は、誠実を基調としてこの綱領を実践し、輝かしい防衛 大学校の伝統を築くことを期するものである。

一、廉 恥

一、真勇

一、礼節







**NATIONAL** DEFENSE **ACADEMY** 

## 目 次

| 防衛大学校学生歌                                   | 1 |
|--|---|
| 学生綱領 ······                                | 1 |
| 設立の目的                                      | 2 |
| 防衛大学校の沿革                                   | 2 |
| 組織図  | 3 |
| 学校長挨拶 ······                               | 4 |
| 本校全景 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 5 |
| 本 科  | 7 |
| 教育訓練の方針                                    | 7 |
| 受験資格 ······                                | 7 |
| 学生の身分及び給与                                  | 8 |
| 募集人員 ·····                                 | 8 |
| 卒業後の身分                                     | 8 |
| 教育課程 ······                                | 8 |
| 修業年限、学年度及び学期・・・・                           | 8 |
| 訓練課程 ·····                                 | 9 |
| 学生隊1                                       | 0 |
| 学生の一日1                                     | 1 |
| 校友会活動1                                     | 2 |
| 年間主要行事 ······ 1                            | 2 |
| 海外士官学校との学生交流… 1                            | 3 |
| 総合情報図書館1                                   | 4 |
| グローバルセキュリティセンター 1                          | 4 |
| 防衛大学校資料館1                                  | 5 |
| 福利厚生1                                      | 5 |
| 保健と医療1                                     | 5 |
| 研究科 ······1                                | 6 |
| 理工学研究科前期課程1                                | 6 |
| 理工学研究科後期課程1                                | 6 |
| 総合安全保障研究科前期課程 1                            | 7 |
| 総合安全保障研究科後期課程 1                            | 7 |

## 設立の目的

平成21. 4. 1

平成28. 4. 1

本校は、将来陸上・海上・航空各自衛隊の幹部自衛官となるべき者の教育訓練を つかさどるとともに、それらに必要な研究を行う防衛省の施設等機関です。

## 防衛大学校の沿革

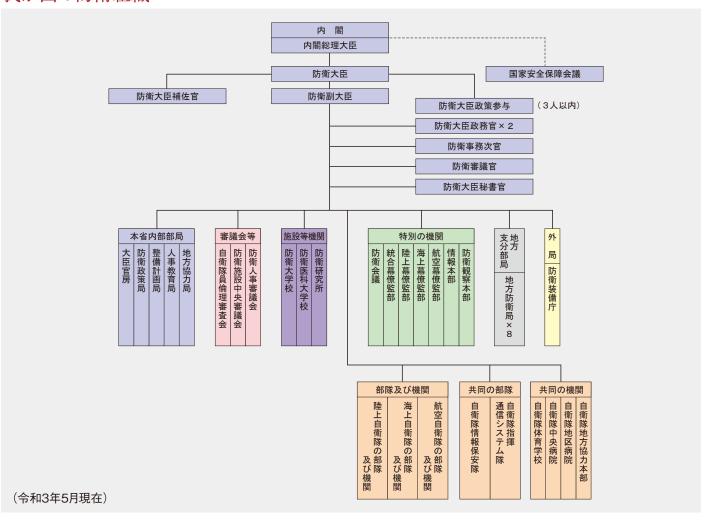
| 120 110 7 4 0 |   |                                       |
|---------------|---|---------------------------------------|
| 昭和27.8.1      | Ŷ | 保安庁の附属機関として保安大学校設置                    |
| 昭和28. 4. 1    | þ | 横須賀市久里浜の仮校舎で開校                        |
| 昭和29.7.1      | þ | 校名を防衛大学校と改名                           |
| 昭和30.4.1      | þ | 横須賀市小原台の新校舎に移転                        |
| 昭和32. 3.26    | þ | 本科第1期学生の卒業式を挙行                        |
| 昭和37. 4. 1    | þ | 理工学研究科開講(大学院の修士課程相当)                  |
| 昭和49. 4. 1    | þ | 人文·社会科学専攻を開講                          |
| 昭和59.7.1      | þ | 防衛庁設置法の改正により、施設等機関となる(防衛庁設置法第17条)     |
| 平成元. 4. 1     | þ | 本科の教育課程の改革を実施し、専門区分を学科に再編成            |
| 平成 3.12.18    | þ | 本科及び理工学研究科が大学の学部及び大学院の修士課程相当と認定       |
| 平成 4. 3.22    | þ | 本科第36期卒業生に学士の学位授与                     |
| 平成 4.4.1      | þ | 本科第40期学生に初めて女性が入校                     |
| 平成 4. 9.18    | þ | 理工学研究科第29期卒業生に修士の学位授与                 |
| 平成 8.4.1      | þ | 理工学研究科教育課程の改革を実施し、専門・系列を専攻・大講座に再編成    |
| 平成 9.4.1      | þ | 総合安全保障研究科開講(大学院の修士課程相当)               |
| 平成12. 4. 1    | þ | 人文科学教室等の16教室を廃止し、教育目的や学問的共通性で区分した     |
|               |   | 学群制を取り入れ、総合教育学群を始めとする6学群21教育室・学科に組織改編 |
| 平成12. 4. 1    | þ | 本科教育課程の専門区分を14学科とした                   |
| 平成12. 4. 1    | þ | 理工学研究科に前期課程及び後期課程設置                   |
| 平成13. 4. 1    | þ | 理工学研究科後期課程を開講(大学院の博士課程相当)             |
| 平成19. 1. 9    | þ | 防衛庁が防衛省に移行                            |
| 平成20 4 1      | 7 | 総合安全保障研究科に前期課程及び後期課程設置                |

総合安全保障研究科後期課程開講(大学院の博士課程相当)

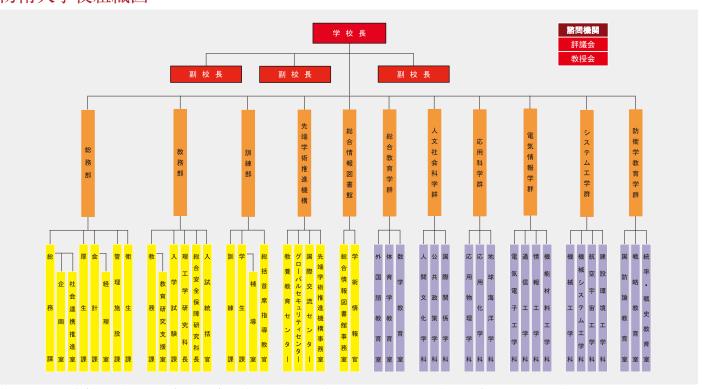
平成27. 4.10 ◇ 教養教育センター及び国際交流センター発足 ) グローバルセキュリティセンター発足

平成30. 4. 1 👌 先端学術推進機構発足

## 我が国の防衛組織



## 防衛大学校組織図



学群には、314名(令和3年4月現在)の教官(その多くが、博士号を有する教授、准教授、講師、助教)が配置され、教育研究に従事しています。



#### 学校長挨拶

防衛大学校は、将来陸上・海上・航空各自衛隊の幹部自衛官となるべ き者の教育訓練をつかさどるとともに、そのために必要な研究を行う防衛 省の施設等機関です。それは「大学」であり、同時に「士官学校」です。昭 和27年(1952年)に保安大学校が設立されましたが、昭和29年防衛大 学校と改名され、翌昭和30年に現在の小原台に移転して今日に至って います。

本校は幹部自衛官となるべき者の養成という明確な使命を持って設立 されていますので、学生の進路が多様である他の大学以上に、その目的に 沿った形でカリキュラム、課外活動、大学生活が設計されています。

般大学と共通の部分もあります。本校でも、教養教育・外国語・体育・ 専門科目の履修が求められていまして、幅広い教養と高度な専門性を身 に付けることができます。幹部自衛官は何より幅広い教養と深い学識を備 えていなければなりません。学問の基礎を学ぶとともに専門を深め、さらに 古典を含めて大いに読書をしてもらうことは、他の大学と共通の課題と言 えます。卒業生は学位授与機構の審査を経て、学士号を取得できます。

それに対して、以下は一般大学と異なる部分です。学生は特別職の国 家公務員であり、学生手当(給与)・期末手当(賞与)が支給されます。ま た、衣食住(被服、食事、寝具等)についても大学が貸与又は支給します。 学費は徴収されません。防衛大学校では、上で紹介した通常の大学での 授業に加えて、防衛学科目を設置しています。防衛学とは、国防論、戦史、 戦略、統率といった学問です。将来幹部自衛官となるべき学生に、幹部と して求められる基礎的な科目を教育します。さらに学生は自衛官としての基 礎的な訓練を、4年間を通じて学内外で受けることになります。この中には 遠泳・スキー・カッターなども含まれます。校友会(クラブ)活動に関しては、 運動部等への加入を原則としており、課業後は練習できる時間を確保して います。運動関係の施設はほぼ完全に整備されています。ここで、心身を 鍛えるとともに、学年、大隊を越えた人間関係を構築し、指導力を身につけ ることができます。

本校は全寮制です。学生は学生舎と呼ばれる寮で生活し、集団生活に 適応できる人間であることが求められています。

それとともに、学生40-50人に1人の割合で指導教官が割り当てられて います。イギリスのオックスフォード大学やケンブリッジ大学のカレッジも基 本的に全寮制で、指導教官による徹底した少人数教育が行われています が、防大の制度はこれとよく似ています。現在、日本国内を含め世界の多く の国を見ても、このような徹底した少人数教育を行っている大学はそれほ ど数多く存在しないのではないでしょうか。

ちなみに、生活の場となるキャンパスは、富士山と東京湾の両方を望む 高台に位置し、自然環境に恵まれた場所です。

本校はこのような仕組みを用意することによって、学生が単に学問を修 めるだけでなく、人格、体力、規律ある生活態度、その中での指導力、そして 全般的な人間力を培っていける環境を整えています。同時に、学生は真に 理解し心を通じ合える友人を数多く得ることができます。他の大学ではしば しば、演習にも課外活動にも参加せず、大教室で講義を受け身で聞くだけ の学生が存在し、とくに大学にあまり行かなくなってしまう学生の場合、友 人もできないといった悩みを抱える場合が多数存在します。教員との接触 も授業の場においてのみということも少なくないでしょう。本校においては、 少人数教育のため教官との接触も多く、また4年間に及ぶ濃厚な付き合 いの中で一生涯の親友を数多く得ることができます。厳しい訓練もありま すが、ともに励まし合って成し遂げた後の達成感は筆舌に尽くしがたいも のがあります。その感動の頂点が、家族のみならず総理大臣・防衛大臣が 列席する前で挙行される卒業式です。

防衛大学校には創設にかかわった吉田茂首相、槙智雄初代学校長ら の思想や価値観が強く刻印されています。吉田首相は戦前の海軍・陸軍の対立を念頭において、陸・海が別個の士官学校を持つことに反対し、二 者が一体となって幹部を養成することを強く主張しました。(空は遅れて発 足)

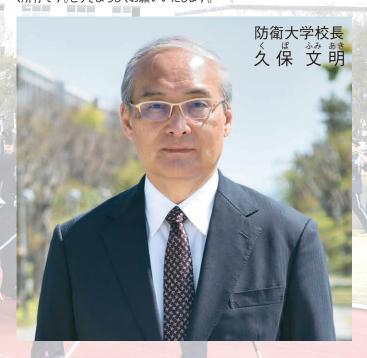
戦前の軍指導者の軍事に偏った発想にも批判的でした。槇校長は、学

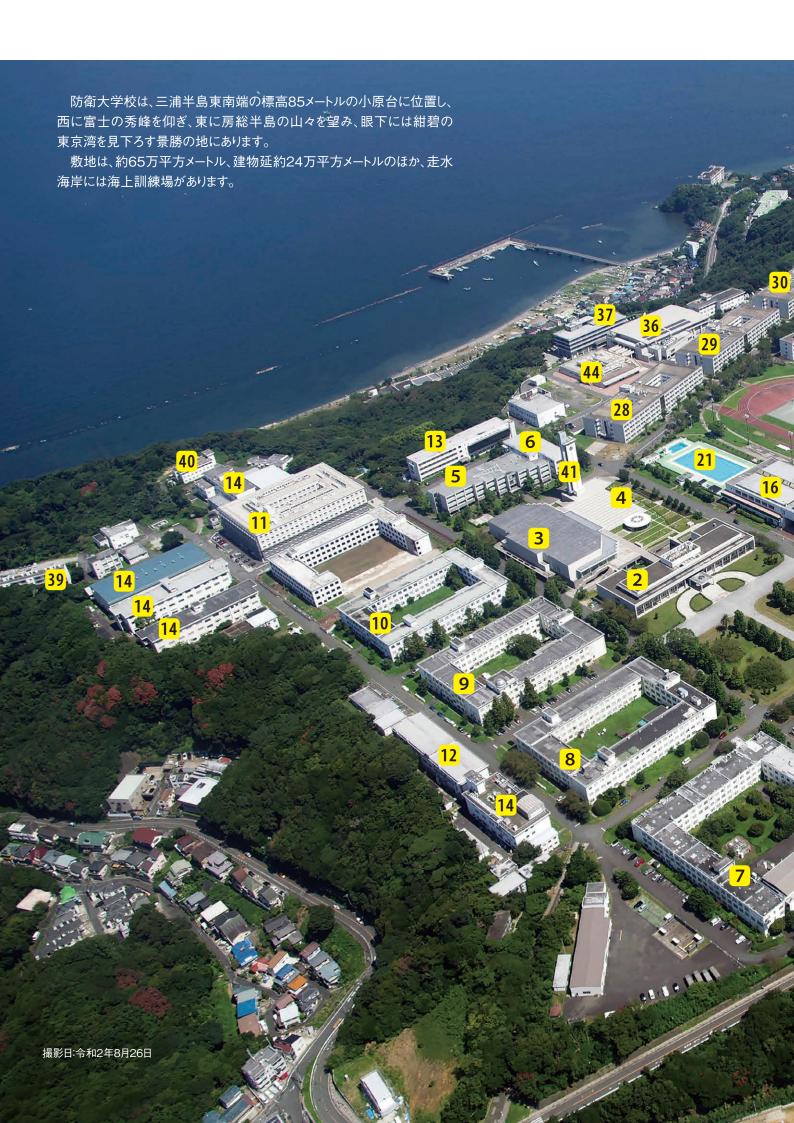
生は「武人」である前に紳士(今であれば紳士淑女)でなければならないと 考え、まさにオックスフォードやケンブリッジ的なリベラルアーツ(教養)教育 と全寮制教育を重視しました。 槇校長はさらに、学生に対して「民主制 度に対して的確な理解」をもつことを求めました。

もちろん、創設以来70年近くが経とうとしていますので、様々な変化もあ ります。吉田首相は戦前の軍指導部には科学的発想が欠けていたと考え たため、本校は理工系の大学として発足しましたが、1970年代からは人 文・社会系を加えた総合大学に変化しました。最初は学部レベルのみの 教育機関でしたが、1960年代には早くも大学院修士課程に相当する理 工学研究科を開講し、現在は理工学研究科と総合安全保障研究科それ ぞれに博士課程に相当するプログラムも擁しています。

また、防衛大学校は幹部自衛官となるべき者の教育訓練をつかさどると ともに、それに必要な研究を行う防衛省の研究機関としても重要な役割を 果たしています。毎年約70名の女子学生が入校し、全学生の5%前後が 海外からの留学生であるのも、創設期からみると巨大な変化です。

防大生も、全学生のおよそ10人に1人は卒業までに、米国の士官学校 への留学をはじめとして1度は海外に出る機会を得ています。本校として は、キャンパスの外で武者修行する機会をさらに増やし、学生の視野を若 い時から広げられるよう支援していく所存です。言うまでもなく、自衛隊の使 命は、国民の命と財産、領土、そして平和な暮らしを守ることです。災害派 遣と国際平和協力も重要な使命として位置づけられています。防大生にも これらの使命のために自分の人生を捧げる決意が求められます。国民の 生活を守る幹部自衛官の養成という点では、本校の目的は設立以来いさ さかも変わっていません。むしろ変化したのは国際環境と日本国民が自衛 隊を見る目でしょう。遺憾ながら、我が国を取り巻く国際環境は近年急速に 悪化しており、自衛隊の役割と自衛隊への期待はますます大きくなってい ます。同時に、2011年の東日本大地震などでの災害派遣活動、海外での 平和維持活動(PKO)や人道支援、あるいは最近の東京・大阪での新型コ ロナウイルスワクチンに係る自衛隊大規模接種センターの設置・運営など を含む長年の地道な活動を通じて、自衛隊に対する信頼と評価は着実に 上昇しています。国民のために奉仕する人生を考える若者にとっては、ます ますやりがいのある仕事になっていると確信しています。防衛大学校は、こ れまでの実績に基づき、その中核的使命を果たしつつ、必要な変革を成し 遂げながら、今後とも優れた幹部自衛官を送り出すことに一層邁進してい く所存です。どうぞよろしくお願いいたします。







# 本科

#### 教育訓練の方針

教育訓練は、次の各号に掲げる方針に基づき、特に広い 視野を開き、科学的な思考力を養い、豊かな人間性を培うこと に留意して、その効果を総合発揮するよう計画実施されてい ます。

> 教育訓練、規律ある団体生活及び学生の自発的に 行う各般の活動において、心身を鍛え徳操をみがき 人格の陶冶(とうや)に努めるとともに、自主自律、積 極敢為の気風を養い、国家及び社会の一員としては もとより、幹部自衛官としてその職責を尽し得る性格を 育成しています。

教育課程においては、大学設置基準に準拠して、一 般教育、人文・社会科学又は理工学及び防衛学に 関する学理及びその応用を授け、幹部自衛官として 必要な基礎となる学力及び技能を育成しています。

訓練課程においては、自衛隊の必要とする基礎的 な訓練事項について錬成し、幹部自衛官としての職 責を理解してこれに適応する資質及び技能を育成し ています。

学生全員の参加する体育活動及び各種の運動競 技を奨励し、訓練とともに強健な体力とおう盛な気力 を育成しています。

あらゆる機会において、陸上・海上・航空各自衛隊 の幹部自衛官となるべき者の間に、理解協力の気風 を育成しています。



#### 受験資格

#### 推薦採用試験

日本国籍を有し、入校する年の4月1日において18 歳以上21歳未満の者で、人物・健康ともに優れ、将 来、幹部自衛官になる強堅な意志を持ち、次の各号の いずれかに該当する者の中から、成績優秀かつ、生徒 会活動又は部活動等において顕著な指導力を発揮し た実績がある優れた資質を有する者等で、高等学校 長、中等教育学校長又は高等専門学校長が防衛大 学校学生として、ふさわしいと認め、責任をもって推薦 できる者

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業者(入校する年 の3月に卒業見込みの者を含む。)
- (2) 高等専門学校の第3学年次修了者(入校する年 の3月に修了見込みの者を含む。)

#### 総合選抜採用試験

日本国籍を有し、入校する年の4月1日において18 歳以上21歳未満の志操健全、身体強健な者のうち、 次の各号のいずれかに該当する者(ただし、自衛官であ る者は23歳未満)で、合格した場合には、防衛大学校 への入校を確約できる者

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業者(入校する年 の3月に卒業見込みの者を含む。)
- (2)前号に掲げる者と同等以上の学力があると文部 科学大臣が認めた者(入校する年の3月31日まで にこれに該当する見込みのある者を含む。)
- (3) 高等専門学校の第3年次修了者(入校する年の 3月に修了見込みの者を含む。)

#### 一般採用試験

日本国籍を有し、入校する年の4月1日において18 歳以上21歳未満の志操健全、身体強健な者のうち、 次の各号のいずれかに該当する者(ただし、自衛官で ある者は23歳未満)

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業者(入校する年 の3月に卒業見込みの者を含む。)
- (2)前号に掲げる者と同等以上の学力があると文部 科学大臣が認めた者(入校する年の3月31日まで にこれに該当する見込みのある者を含む。)
- (3) 高等専門学校の第3年次修了者(入校する年の 3月に修了見込みの者を含む。)

1

2

3

3

2

1

5



#### 学生の身分及び給与

学生の身分は、特別職の国家公務員です。全員学生舎に 居住し、被服、寝具、食事などが貸与又は支給されるほか毎月 学生手当が支給されます。また、6月、12月には期末手当が支 給されます。

#### その他

本校では、国際社会に対応できる人材育成に力を入れると ともに、すべての学生が毎年TOEICを受験することになってい ます。また、情報技術(IT)化に伴い、情報処理能力を身に付 けさせるための教育及び教育施設の充実整備に力を入れて います。

#### 募集人員

募集人員は480名を基準とします。陸上・海上・航空各自衛官 の要員配分及び専門配分は第2学年に進級の際に行います。

#### 卒業後の身分

卒業後は、陸・海・空曹長に任命され、幹部候補生として自 衛隊の幹部候補生学校(陸上・・・久留米、海上・・・江田島、航 空…奈良)における教育を受け、その後部隊又は海上勤務を 経て本校卒業後約1年で幹部自衛官に任命されます。

#### 教育課程

教育課程は、大学設置基準に準拠し、教養教育、外国語、 体育、人文・社会科学専門又は理工学専門及び本校独自の 防衛に関する諸問題の学際的な研究分野である防衛学の教 育を行っています。

1、2学年で専門基礎を履修するとともに、2学年からは各学 科に分かれ専門科目を履修し、4学年で指導を受けて卒業論 文を提出します。教養教育、外国語、体育及び防衛学は1~4 学年にわたって履修します。

なお、上記教育課程内の教養教育科目・専門科目を用いて 人社系・理工系にまたがり、学科を横断する形で所属学科以 外の他の領域も効率的に学べ、幅広い視点からの総合的な 問題解決能力向上を目的とする「教育プログラム制度 | が24 年度から開設されています。「危機管理」、「安全科学」、「生命 科学 |、「国際教育 | の4つのプログラムがあります。













#### 【修得単位】

|          |            |           | 卒業に必要な単位  |          |       |  |
|----------|------------|-----------|-----------|----------|-------|--|
| 科目区分     |            |           |           |          | 大学設置  |  |
|          |            |           | 人文·社会科学専攻 | 理工学専攻    | 基準    |  |
| <br>教養教育 |            |           | 24        | 24       |       |  |
| 外        |            | 英語        | 12        | 12       |       |  |
| 外国語      | 独·仏·囂      | 廖·中国·朝鮮・  | (一つの外国語)  | (一つの外国語) |       |  |
| 語 アラビア   |            | '・ポルトガル語  | 2         | 2        |       |  |
| <br>体 育  |            |           | 6         | 6        |       |  |
|          | 専門基礎       |           | 18        | 30       |       |  |
|          | 人文・        | 人間文化学科    | 66        |          |       |  |
|          | 社会科<br>学専攻 | 公共政策学科    |           |          |       |  |
|          |            | 国際関係学科    |           |          | 124以上 |  |
|          | 理工学専攻      | 応用物理学科    |           | 54       |       |  |
|          |            | 応用化学科     |           |          |       |  |
|          |            | 地球海洋学科    |           |          |       |  |
| 専        |            | 電気電子工学科   |           |          |       |  |
| 門        |            | 通信工学科     |           |          |       |  |
|          |            | 情報工学科     |           |          |       |  |
|          |            | 機能材料工学科   |           |          |       |  |
|          |            | 機械工学科     |           |          |       |  |
|          |            | 機械システム工学科 |           |          |       |  |
|          |            | 航空宇宙工学科   |           |          |       |  |
|          |            | 建設環境工学科   |           |          |       |  |
| 防衛学      |            | 衛学        | 24        | 24       |       |  |
| 合計       |            | 計         | 152以上     | 152以上    | 124以上 |  |

#### 【学位授与】

本科を卒業し、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機 構の行う審査に合格すれば、学十の学位が授与されます。

## 修業年限、学年度及び学期

学生の修業年限は4年間で、学年度は4月1日に始まり翌 年3月31日に終ります。

また、学年度は前学期及び後学期の2学期となっています。

# 訓練課程

| 区別   |        | 区別科目  |             | 備考  |
|------|--------|---|-------------|---|
| 共    | 通訓練    | 部隊見学、基本教練、各個戦闘訓練、小銃、野<br>外勤務、カッター、衛生、体育、水泳、スキー、教育<br>法、硫黄島研修等 | 1,005<br>以上 | 訓練は共通の訓練と2学年から<br>陸上・海上・航空要員別に分かれて<br>実施される要員別の訓練に区分され、毎週2時間を基準とする課程訓<br>練と、春・夏・秋・冬に年間約6週間<br>の定期訓練により実施されます。 |
| 要員訓練 | 陸上要員訓練 | 戦闘訓練、野戦築城、歩哨・斥候、各種武器、通<br>信、指揮運用基礎、部隊実習等                      |             |   |
|      | 海上要員訓練 | 航海概論、水泳、気象、信号通信、海事法規、<br>カッター、ヨット、機動艇、艦橋副直士官演習、乗<br>艦実習、航空実習等 |             |   |
|      | 航空要員訓練 | 滑空機訓練、航空作戦、指揮幕僚活動、基礎警備、航空機整備、通信電子、航法、保命、航空交通管制、部隊実習等          |             |   |







部隊実習(航空)



戦闘訓練





滑空機訓練





硫黄島研修



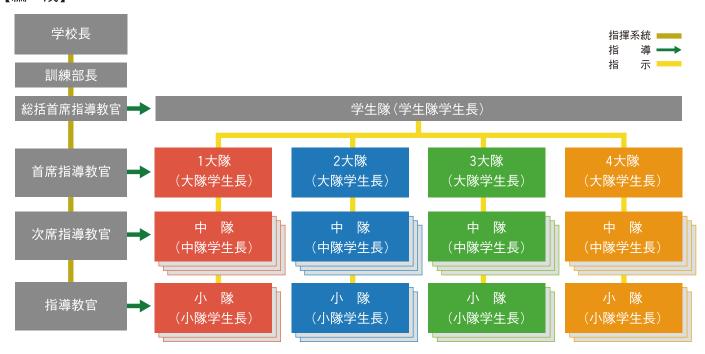
#### 学生隊

本校における特徴の一つとして、学生隊が挙げられます。 学生隊は、学生の共同生活を円滑にし、合わせて将来部隊に おいての指揮、指導、管理等の能力の向上に資するため、また、

自律心をかん養するため全学生をもって編成しています。

学生隊は、4個大隊からなり、1個大隊は4個の中隊、1個中 隊は3個の小隊で編成されています。(1個小隊30~40名程度)

#### 【編成】







## 【学生舎】

学生は、入校と同時に全員校内の学生舎で規律正しい生 活を送ることになります。

学生舎には、自習室、寝室、集会室、応接室、面談室、シャワー 室、洗濯室等の設備があります。









#### 学生の一日

防衛大学校では決められた日課に従って規則正しい生活を送っています。防大生の一日を、起床から就寝まで時間を追って紹介します。







#### 校友会活動

校友会は、運動、文化の各分野における活動を通じ、会員 の品性の陶冶、体力・気力の増進及び会員相互の親睦を図 り、もって本校教育訓練の完成に資することを目的として組織 され、委員会等、運動部、文化部、同好会に分かれています。 学生は、希望するいずれかの運動部等に加入することを原則 としています。



















#### 委員会等

短艇委員会/雑誌委員会/放送委員会/写真委員会/☆各種行事準 備委員会/☆学生会計監査委員会/☆哀悼行事実行委員会 ☆印の委員会は常設されていない委員会 應援團リーダー部/アカシア会(社交ダンス)/儀仗隊

バスケットボール部/山岳部/ワンダーフォーゲル部/柔道部/水泳部 パラシュート部/ラグビー部/ハンドボール部/準硬式野球部/サッカー部 ´アメリカンフットボール部/合気道部/剣道部/ヨット部/体操部/空手 道部/銃剣道部/弓道部/バレーボール部/グライダー部/少林寺拳法 部/卓球部/ソフトテニス部/フェンシング部/陸上競技部/ボクシング部 / ウエイトリフティング部 / 硬式庭球部 / レスリング部 / 相撲部 / 硬式野球 部/ボート部/バドミントン部/射撃部/フィールドホッケー部/居合道部 /自転車競技部

#### 文化部

茶道部/弁論部/英会話部/棋道部/吹奏楽部/音楽部/軍事史研究 部/軽音楽部/国際関係論研究部/古典ギター部

#### 同好会

自動車同好会/美術同好会/タイ文化研究同好会/韓国文化研究同好 会/紅太鼓同好会/ベトナム文化研究同好会/インドネシア文化研究同 好会/文芸同好会/書道同好会/モンゴル文化研究同好会/カンボジア 文化研究同好会/東ティモール文化研究同好会/コンピュータ研究同好 会/ダイビング同好会/伝統文化研究同好会/スキー同好会/ジャズ研 究同好会/ピアノ同好会/ミャンマー文化研究同好会/ダンス同好会/フ ィリピン文化研究同好会/ボードゲーム同好会/演劇同好会

## 年間主要行事

4月 入校式 春季定期訓練

カッター競技会(2学年)

7月 夏季定期訓練 遠泳訓練(1学年)

8月 夏季休暇

水泳競技会 9月 前期定期試験

10月 秋季定期訓練(1学年)

11月 開校記念祭

12月 冬季定期訓練(3学年)

1月 冬季定期訓練(2学年)

2月 後期定期試験

3月 卒業前·進級前訓練 断郊競技会(3学年) 持続走競技会(4学年) 卒業式



#### 海外士官学校との学生交流

#### 【国際十官候補牛会議】

オーストラリア、ブラジル、インド、イタリア、マレーシア、スウェーデン、チュニジア及びアメリカなど約20カ国の士官候補生を招へいし、約1週間の日程で、国際情勢及び安全保障に関する討議等を行っています。



#### 【外国人留学生の受入れ】

本校では、これまでタイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、モンゴル、ベトナム、韓国、ルーマニア、カンボジア、東ティモール、ラオス及びミャンマーの士官候補生等をそれぞれ留学生として受入れ、日本の学生同様に教育訓練を行っております。本科留学生数は116名(令和3年6月現在)であり、この他に研究科に在学する者もいます。



#### 【本校からの海外留学】

海外士官学校との交流は、将来の幹部自衛官として必要な国際的視野に立脚した識見を養うとともに、伸展性のある資質を育成する事を目的として、短期交換留学制度と長期交換留学制度があります。

#### 短期留学

短期的な留学制度として、1~3週間各国(韓国、シンガポール、アメリカ、中国、ブラジル、ロシア、カナダ等の各士官学校)に派遣しています。また交換留学生として各士官学校(オーストラリア、韓国、アメリカ、シンガポール、インド、タイ等)から学生を受け入れています。

#### 長期留学

長期的な留学制度として、韓国、アメリカ、フランス、ドイツ、 カタール、オーストラリア等(陸・海・空軍各士官学校)に4か月 間から1年間派遣し、またそれぞれの国からの学生を受け入れ ています。







#### 総合情報図書館







平成21年4月に図書館と学術情報センターを統合し、「総 合情報図書館と改称しました。

総合情報図書館は、地上1階・地下1階建てで、各階ともに ゆとりのある空間をつくっています。入口には、自動入退館シ ステムを設け、入口近くに図書の自動貸出返却装置を設置し ました。参考書等の持ち込みを可能とし、利用者へのスムーズ なサービスを実現しています。

1階には、情報検索コーナー、各種企画コーナーを設け、国 立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入しました。 閲覧スペースの書架には、国防・軍事や情報科学に関連した 図書、年鑑、百科事典等を配架しています。また、総合情報図 書館事務室、受付カウンターがあります。

地下1階には、吹き抜けの円形ブラウジングコーナーがあ り、そこでは国内外の新聞・雑誌を読むことができます。閲覧ス ペースには参考図書コーナーを設けたほか、人文・社会科学、 自然科学、技術工学に関連した図書等を配架しています。ま た、一般の閲覧スペースに加えて、研究個室を併設した研究 閲覧室や、グループ研究室を設置し、長時間、集中して研究 する利用者に最適な環境を整えています。

総合情報図書館は、大学図書館基準に適合するよう整備 を実施し、各種専門図書をはじめ学習用図書、教養図書、貴 重図書を所蔵しています。また、校内LANを利用した情報検

索サービスを提供するとともに、ホームページ等を通じて情報 を発信し、他大学の図書館との情報交換・相互利用に努めて います。本科・研究科学生、教職員の教養の向上や研究の 促進に資することが総合情報図書館の目的です。

なお、総合情報図書館に隣接してAVホールとパソコン講 義室が設置され、教育・訓練等に幅広く活用できる施設を整 えています。

#### グローバルセキュリティセンター

グローバルセキュリティセンター(GS)は、現代社会が直面 する安全保障上の課題について、理系・文系の垣根を取り払 って、多様な視点からアプローチしていく研究推進のための組 織です。GSがカバーする研究分野は、アジア安全保障・サイ バー・宇宙・海洋・感染症・防災・メンタルヘルス・軍事プロフェ ッション・安全保障法規・デュアルユース技術など、実に多岐 にわたっています。GSの使命は、これらのテーマについて学内 の優れた研究者を専攻の壁を越えて統合するだけでなく、国 内外の機関との共同研究を重ねて、そうした研究成果を学外 に向けて発信していくことにあります。このような活動を通じて GSは、防衛大学校を安全保障研究の拠点の1つとして世界 に対してアピールしていきます。

#### 防衛大学校資料館

平成17年3月、学生教育に資することを目的に開設されました。1階には、シンボルモニュメント、校内ガイダンス、大学校のあゆみを、2階には今日の学校生活、卒業後の針路を展示し、教育理念、周辺地理、歴史、教育、訓練、学生舎生活、校友会活動等について知ることができるようになっています。また、平成20年10月、槇初代学校長の建学精神を展示した「槇記念室」を1階に開設しました。





## 福利厚生

学生が校内生活を営む上で欠かすことの出来ない福利厚 生施設として学生会館があります。

学生会館の地階、1階及び2階には、コンビニエンスストア、クリーニング、宅配、喫茶、スポーツ用品、土産品及び日用雑貨等の販売を委託しているほか、学生会館入り口には、市中銀行のATMを2台設置しており、学生の校内生活の充実を図っています。

2階には、厚生課事務室があり、福利厚生業務を担当しています。各種物品の貸出、共済組合事業を担当し、学生及び教職員とその家族の生活の安定と福祉の向上に努めています。共済組合事業は、病気時における医療給付、年金給付、貸付事業等幅広いサポートを行っています。また、切手類等の販売窓口もあります。

4階の大・中ホールは学生が自由活動の場として、多目的に 利用することが出来ます。

また、1階及び2階には、学生等がくつろげる談話スペース が設置されています。



## 保健と医療

本科・研究科学生及び教職員の保健については、健康保持のため各種健康診断等を行い、適時適切な保健指導を実施するとともに「こころ」と「からだ」の健康相談も行っています。

一方、医療については、病気やケガの際には医務室において診療を行い、必要に応じて校外の医療機関にも診察を委託しています。なお、本科学生及び自衛官の医療費は、防衛省医療機関では全額国費をもって支払われています。





# 研究科(大学院相当)

研究科は、「自衛隊の任務遂行に必要な高度の理論と応 用についての知識並びにこれらに関する研究能力を修得させ るための教育を行う。」ことを目的としており、その教育内容は、 大学院設置基準の修士課程・博士課程に準拠しています。

学生を選抜するための試験は、防衛省各機関の長の推薦 を受けた者について行います。この推薦は幹部自衛官又は自 衛官以外の隊員で、理工学研究科前期課程及び総合安全 保障研究科前期課程においては、防衛大学校を卒業した者、 学校教育法による大学を卒業した者又は文部科学大臣がこ れらと同等以上の学力があると認めた者のうちから行われるこ とになっています。

また、理工学研究科後期課程及び総合安全保障研究科 後期課程の選抜試験においては、理工学研究科前期課程 (第38期までは理工学研究科)又は総合安全保障研究科前 期課程(第11期までは総合安全保障研究科)を卒業した者若 しくは入校日までに卒業見込みの者、修士の学位を有する者 若しくは入校日までに取得見込みの者又は防衛大学校長が 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 のうちから行われることになっています。

卒業には、履修すべきものと定められている授業科目につ いて所定の単位数を修得し、卒業論文の審査及び最終試験 に合格することが必要です。

なお、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構が実施 する、論文の審査と試験に合格すると、理工学研究科前期課 程については修士(理学または工学)及び総合安全保障研 究科前期課程については修士(安全保障学)の学位が授与 されます。また、理工学研究科後期課程については博士(理 学または工学)及び総合安全保障研究科後期課程について は博士(安全保障学)の学位が授与されます。







## 理工学研究科前期課程(修士課程相当)

自衛隊の任務遂行に必要な理学及び工学に関する高度 な理論と応用についての知識並びにこれらに関する研究能 力を修得させるための教育を行っています。

1学年の学生数は90名が基準であり、修業年限は2年です。 専攻は「電子工学」、「機械工学」、「航空宇宙工学」、「物 質工学」、「情報数理」、「境界科学」及び「地球環境科学」 の7専攻です。

#### 理工学研究科後期課程(博士課程相当)

益々高度化・ハイテク化する防衛装備・技術に対応し、これ ら分野における自立した研究開発能力を有する人材を育成す るため、専門的かつ高度な研究能力及びその基礎となる学識 を修得させるための教育を行っています。

1学年の学生数は20名が基準であり、修業年限は3年です。 専攻は「電子情報工学系」、「装備・基盤工学系」及び「物質・ 基礎科学系」の3専攻です。

## 総合安全保障研究科前期課程(修士課程相当)

社会科学の専門的学識に裏付けられた安全保障に関する幅広い視野と高度の実践的問題解決能力を養うための教育を行っています。

1学年の学生数は20名が基準であり、修業年限は2年です。 専攻は「総合安全保障」の1専攻で構成され、この専攻の中 に「国際安全保障コース」、「戦略科学コース」及び「安全保 障法コース」の三つの履修コースを設けています。

#### 総合安全保障研究科後期課程(博士課程相当)

安全保障研究の一大拠点として、高度化・多様化した安全 保障・戦略問題の最新の研究成果を踏まえ、安全保障の広い領域にわたる高度の専門的学識と実務的能力を持つ人材 を養成します。

1学年の学生数は7名が基準であり、修業年限は3年です。 専攻は「総合安全保障」の1専攻です。





## 防衛大学校同窓会からの寄贈



ステンドグラス「若人の城」(原画作者 平松 礼二 画伯)

モニュメント [国の護り] (彫刻家 高橋 洋作)



「建学の碑」



槇初代学校長肖像画

## 防衛大学校経路図

- JR横須賀線「横須賀駅」下車、 京浜急行バス「防衛大学校」行きに乗車約30分です。(バス乗車場3番)
- 京浜急行電鉄「馬堀海岸駅」下車、 京浜急行バス「防衛大学校」行きに乗車約6分、又は徒歩で約25分です。
  - ※新幹線・新横浜駅~馬堀海岸駅まで約60分
  - ※飛行機・羽田空港第1・第2ターミナル駅及び羽田空港 第3ターミナル駅~馬堀海岸駅まで約70分
- 横浜横須賀道路、馬堀海岸インターから約5分です。

所在地 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1丁目10番20号 電 話 横須賀046(841)3810(代表) FAX 046(843)6236 Eメールアドレス ndainfo@nda.mod.go.jp ホームページアドレス https://www.mod.go.jp/nda/





リサイクル適性(B)

この印刷物は、板紙へ リサイクルできます。

刊行日:2022.03